

生活習慣病予防健診受診者の 業態別リスク保有割合

使用データ:平成24年度茨城支部健診受診者リスト

平成27年5月作成

目的・方法

【目的】

協会けんぽ茨城支部は、加入者1人あたり医療費は全国平均と比較して低く、平成24年度は、沖縄、長野に次いで3番目に低かった。しかし、生活習慣病に関連するリスク保有割合は全てにおいて全国平均を上回っている。

また、加入事業所は中小企業を中心に様々な業態で構成されていることから、業態ごとのリスク保有割合を把握することで効率的・効果的な保健事業の実施に繋げる。

【方法】

平成24年度に生活習慣病予防健診を受診した、任意継続被保険者を除く35歳以上の茨城支部被保険者の検査結果データから、業態ごとに腹囲、血圧、脂質、代謝、メタボ等の各リスク保有割合と喫煙割合、入院及び外来の1人あたり医療費等を算出した。なお、算出にあたっては業種によって年齢構成や性別構成に差があるため、業種間の差を分析するにあたり年齢性別調整を実施した。業態別のリスク保有者の割合に関しては、特徴的な結果が出た運輸業と運輸業以外においてカイ2乗検定を、1人あたり医療費についてはMann-Whitney(マン・ホイットニー)検定を実施した。

業態区分対応表

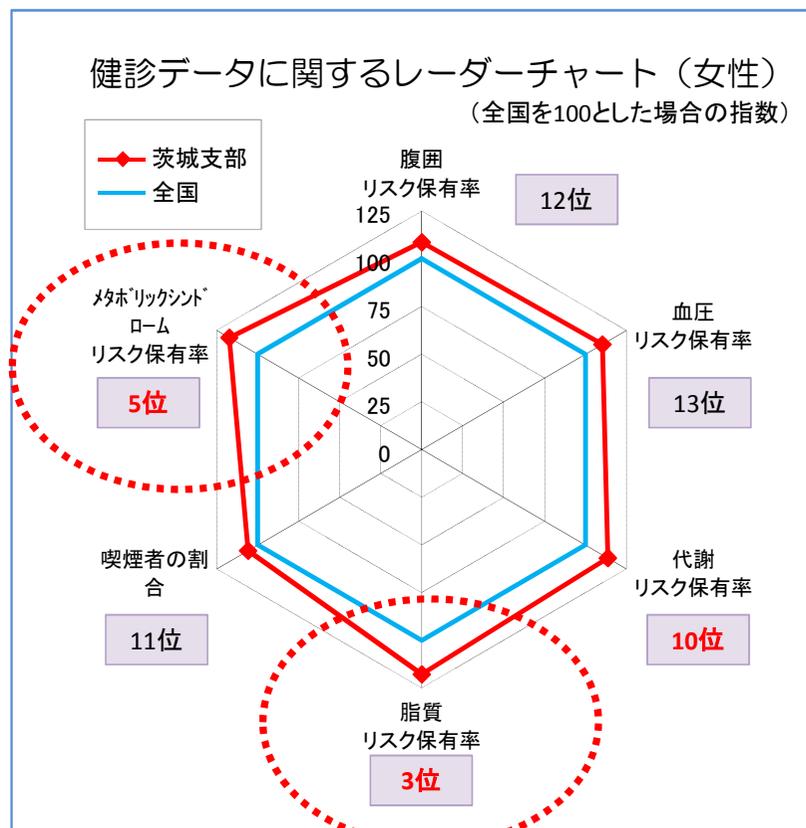
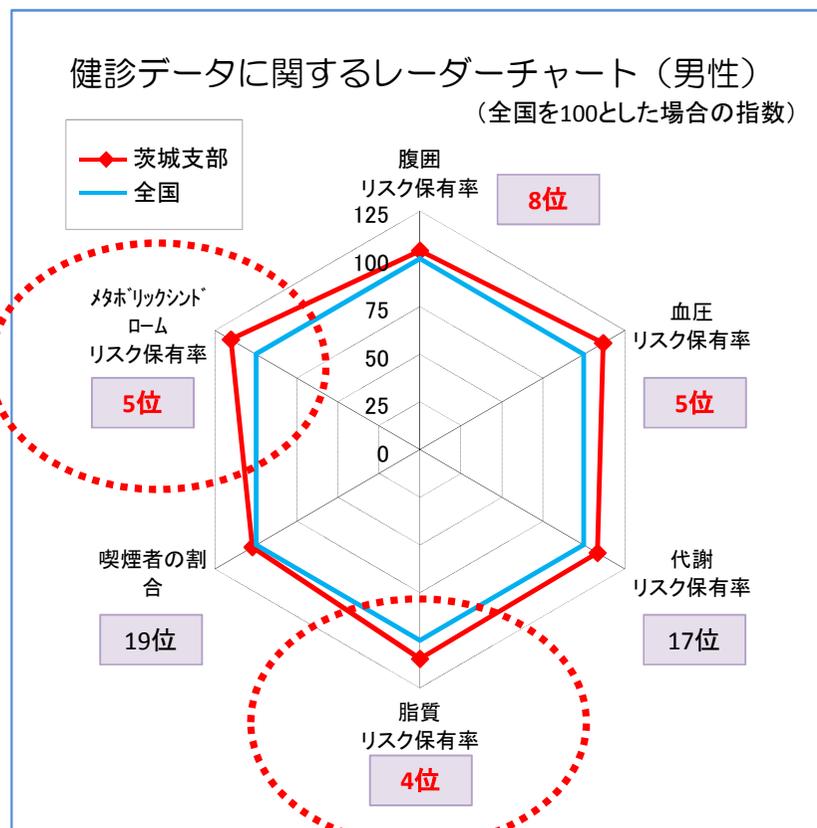
大区分	小区分
農林水産業	農林水産業
鉱業、採石業、砂利採取業	鉱業、採石業、砂利採取業
建設業	総合工事業 職別工事業 設備工事業
製造業	食料品・たばこ製造業 繊維製品製造業 木製品・家具等製造業 紙製品製造業 印刷・同関連業 化学工業・同類似業 金属工業 機械器具製造業 その他の製造業
電気・ガス・熱供給・水道業	電気・ガス・熱供給・水道業
情報通信業	情報通信業
運輸業、郵便業	道路貨物運送業 その他の運送業
卸売・小売業	卸売業 飲食料品以外の小売業 飲食料品小売業 無店舗小売業

大区分	小区分
金融・保険業	金融・保険業
不動産業、物品賃貸業	不動産業 物品賃貸業
学術研究、専門・技術サービス業	学術研究機関 専門技術サービス業
飲食店・宿泊業	飲食店 宿泊業
生活関連サービス業、娯楽業	対個人サービス業 娯楽業
教育・学習支援業	教育・学習支援業
医療・福祉	医療業・保健衛生 社会保険・社会福祉・介護事業
複合サービス業	複合サービス業
サービス業	職業紹介・労働者派遣業 その他の対事業所サービス業 修理業 廃棄物処理業 政治・経済・文化団体
公務	公務

リスク判定基準

各リスク	判定基準
①腹囲リスク	<ul style="list-style-type: none"> ・内臓脂肪面積が100cm²以上 ・内臓脂肪面積の検査値がない場合は、腹囲が男性で85cm以上、女性で90cm以上
②血圧リスク	<ul style="list-style-type: none"> ・収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上、または高血圧に対する薬剤治療あり
③代謝リスク	<ul style="list-style-type: none"> ・空腹時血糖110mg/d以上、または糖尿病に対する薬剤治療あり ・空腹時血糖の検査値がない場合は、HbA1c5.5%以上、または糖尿病に対する薬剤治療あり
④脂質リスク	<ul style="list-style-type: none"> ・中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満、または脂質異常症に対する薬剤治療
メタボリック予備群	<ul style="list-style-type: none"> ・①に該当し、かつ②～④のうち1項目のみに該当 ・非該当にはメタボリックリスク該当が含まれている
メタボリックリスク	<ul style="list-style-type: none"> ・①に該当し、かつ②～④のうち2項目以上に該当

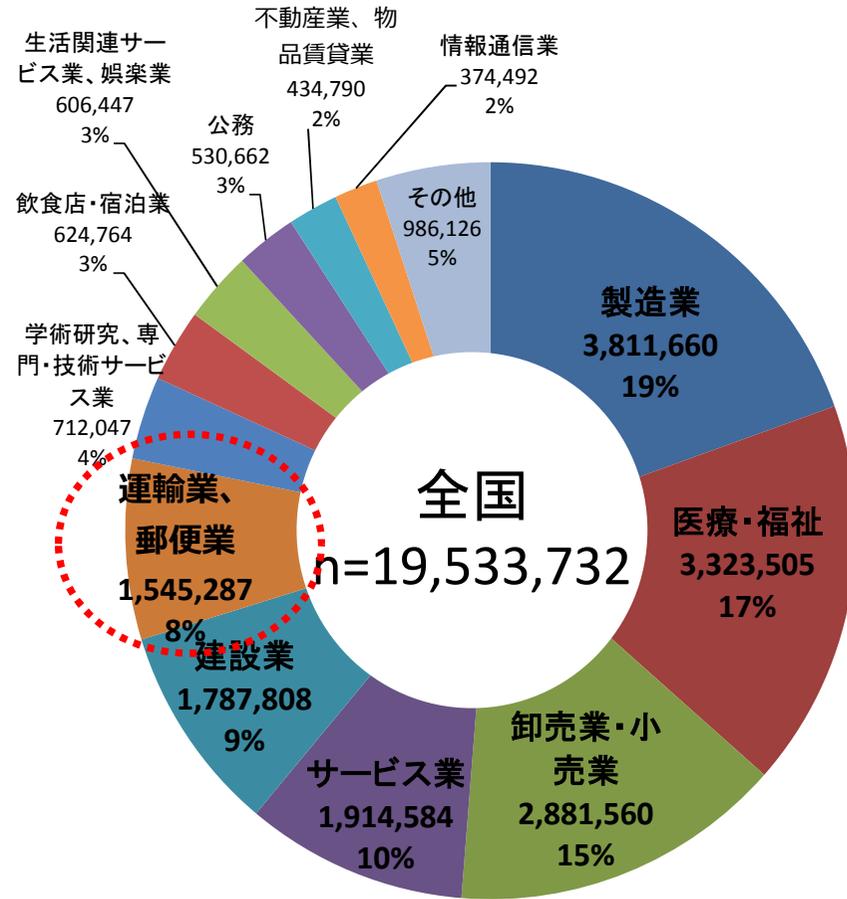
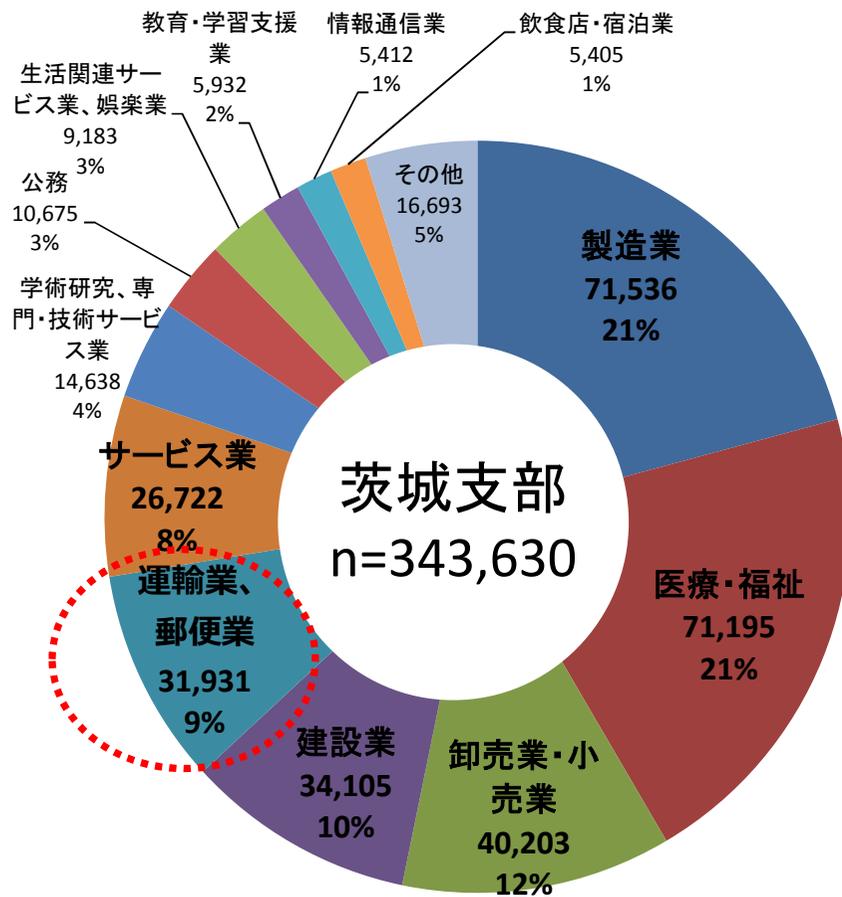
リスク保有割合の全国比較



健診データ項目におけるリスク保有率は、どの項目においても全国平均を上回っている。茨城支部加入者には生活習慣病（協会けんぽの医療費分析では「悪性新生物、糖尿病、心疾患、高血圧症、脳血管疾患、高脂血症」を生活習慣病と設定している）の罹患リスクが高いと考えられる。

業態別被保険者数構成割合

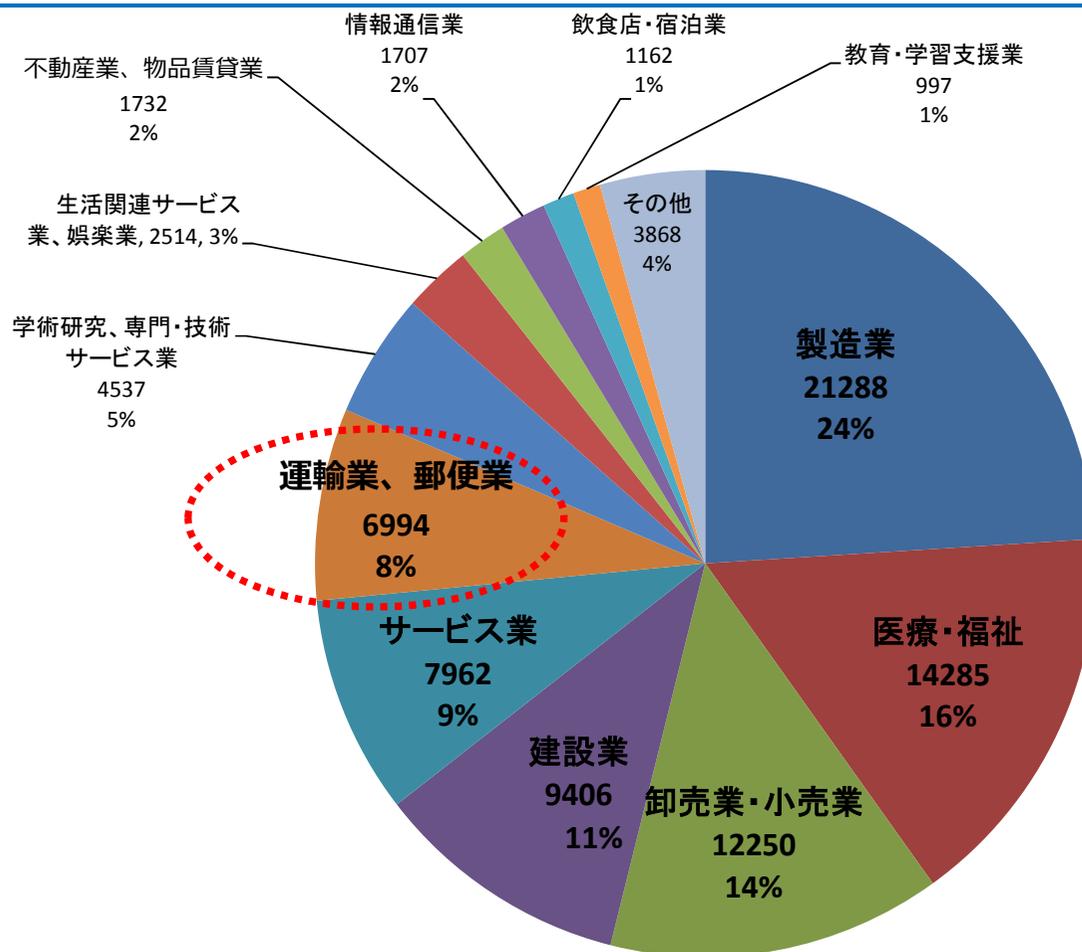
(平成24年度末時点)



全国、茨城支部とも上位6業種で全体の約8割を占めている

茨城支部業態別健診受診者構成割合 (n=88,702)

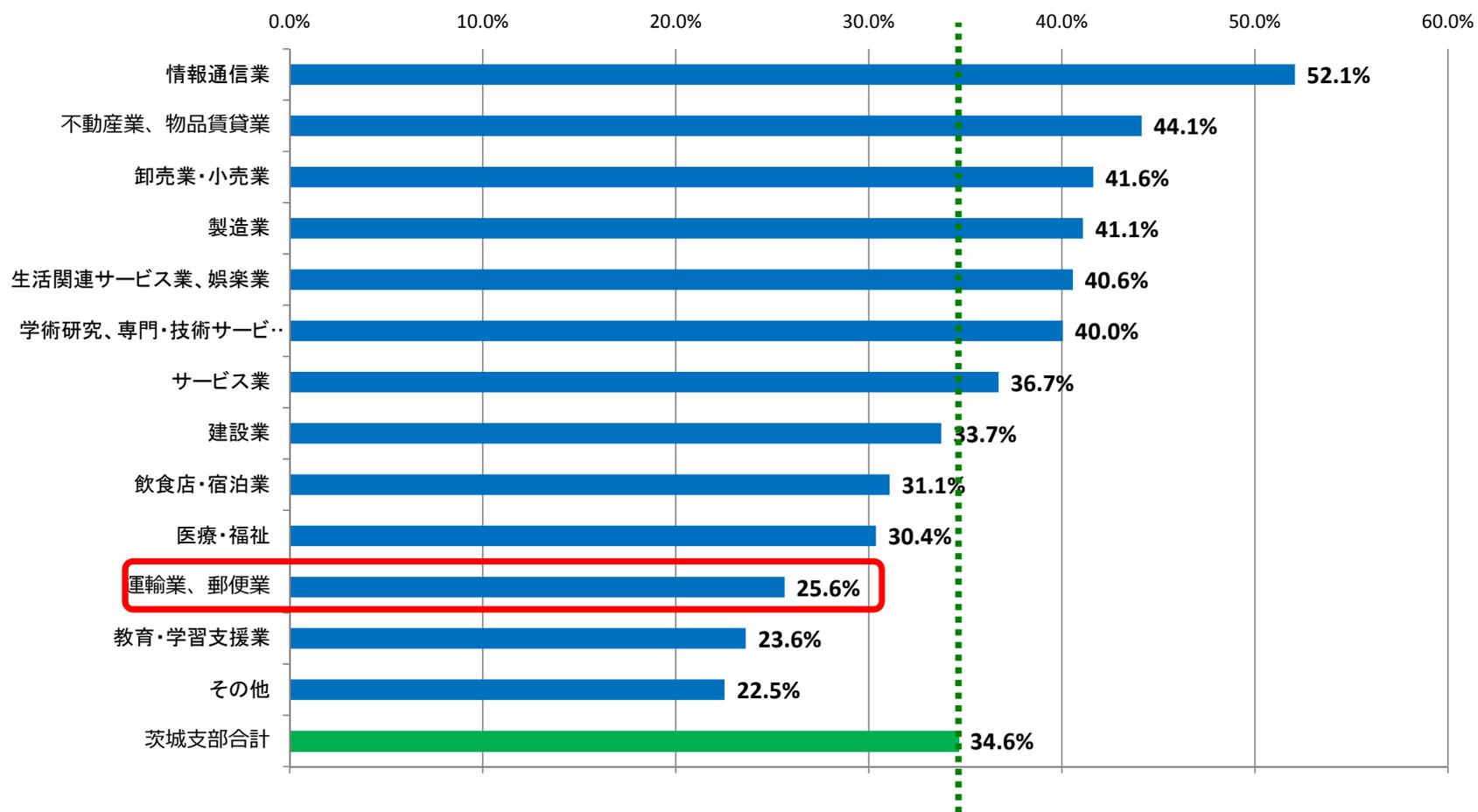
(平成24年度健診受診者より
リスク判定が可能な方を抽出)



今回の分析対象である健診受診者についても、
上位6業種で全体の約8割を占めている

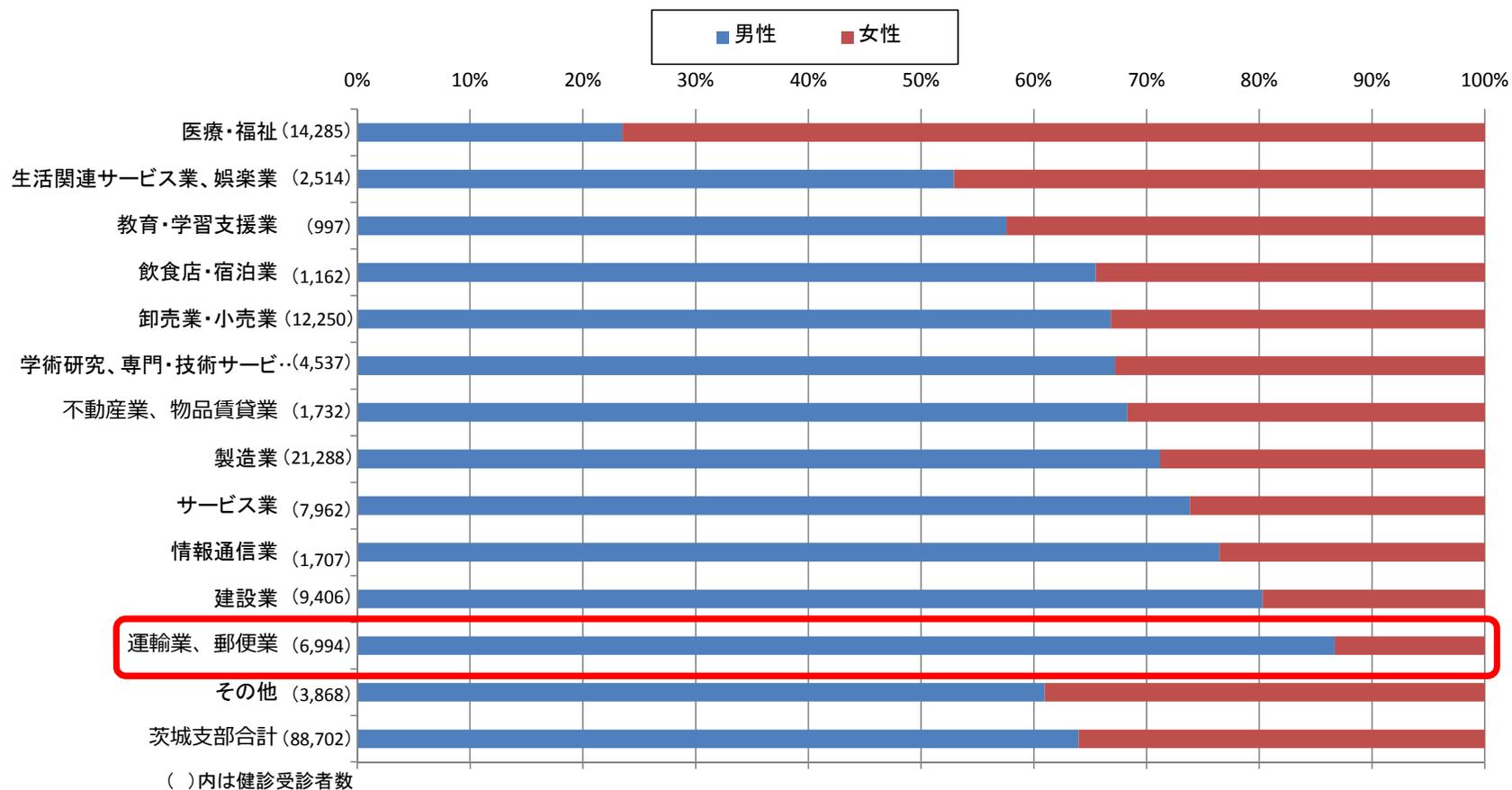
業態別健診受診率(参考)

(平成24年度)



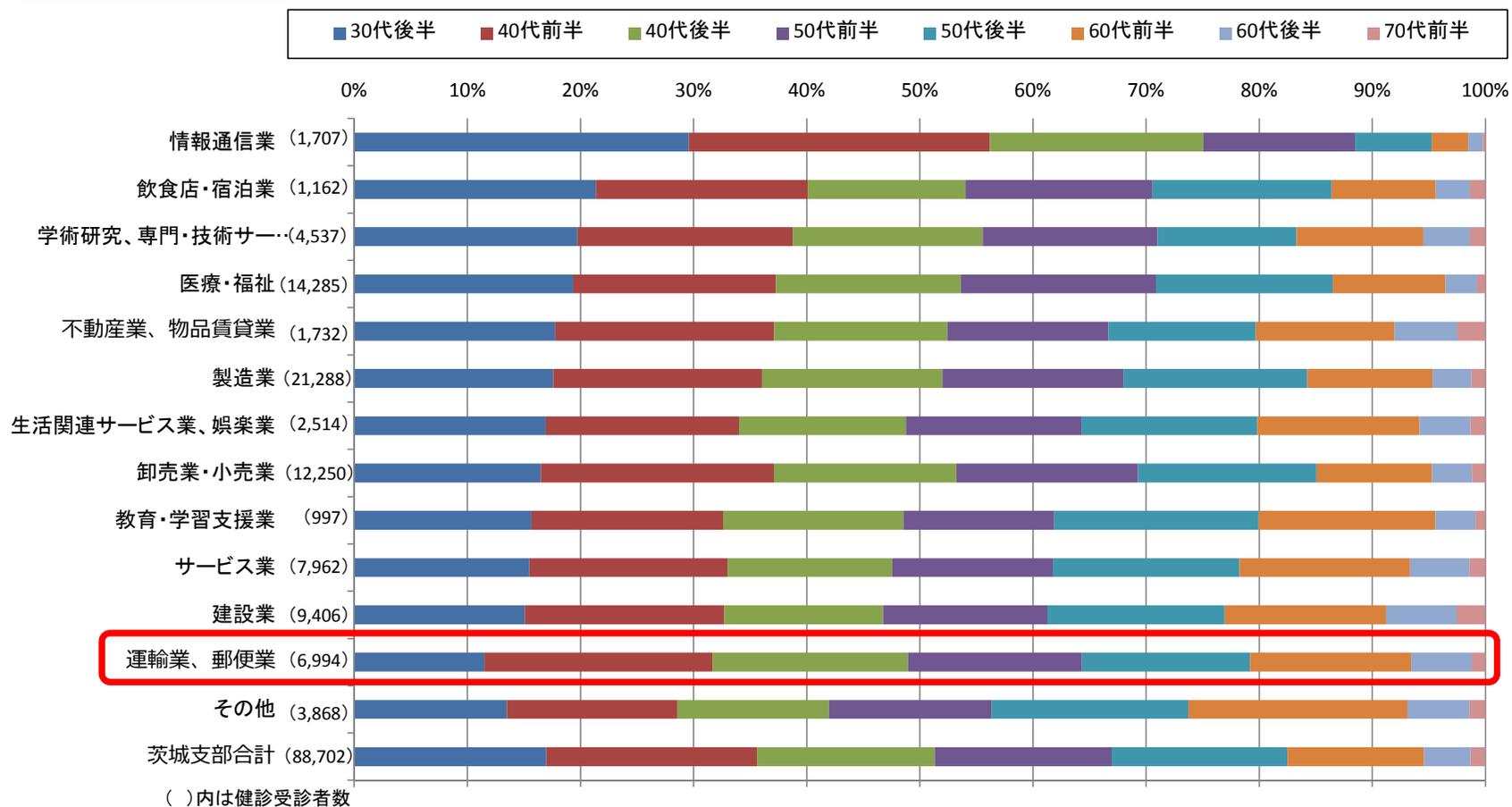
業態によって健診受診率が大きく異なっている

業態別・性別構成割合



全体的に男性の割合が高いが、業態によっては構成割合が大きく異なる。医療・福祉では女性の、運輸業・郵便業や建設業などでは男性の割合が圧倒的に高い。

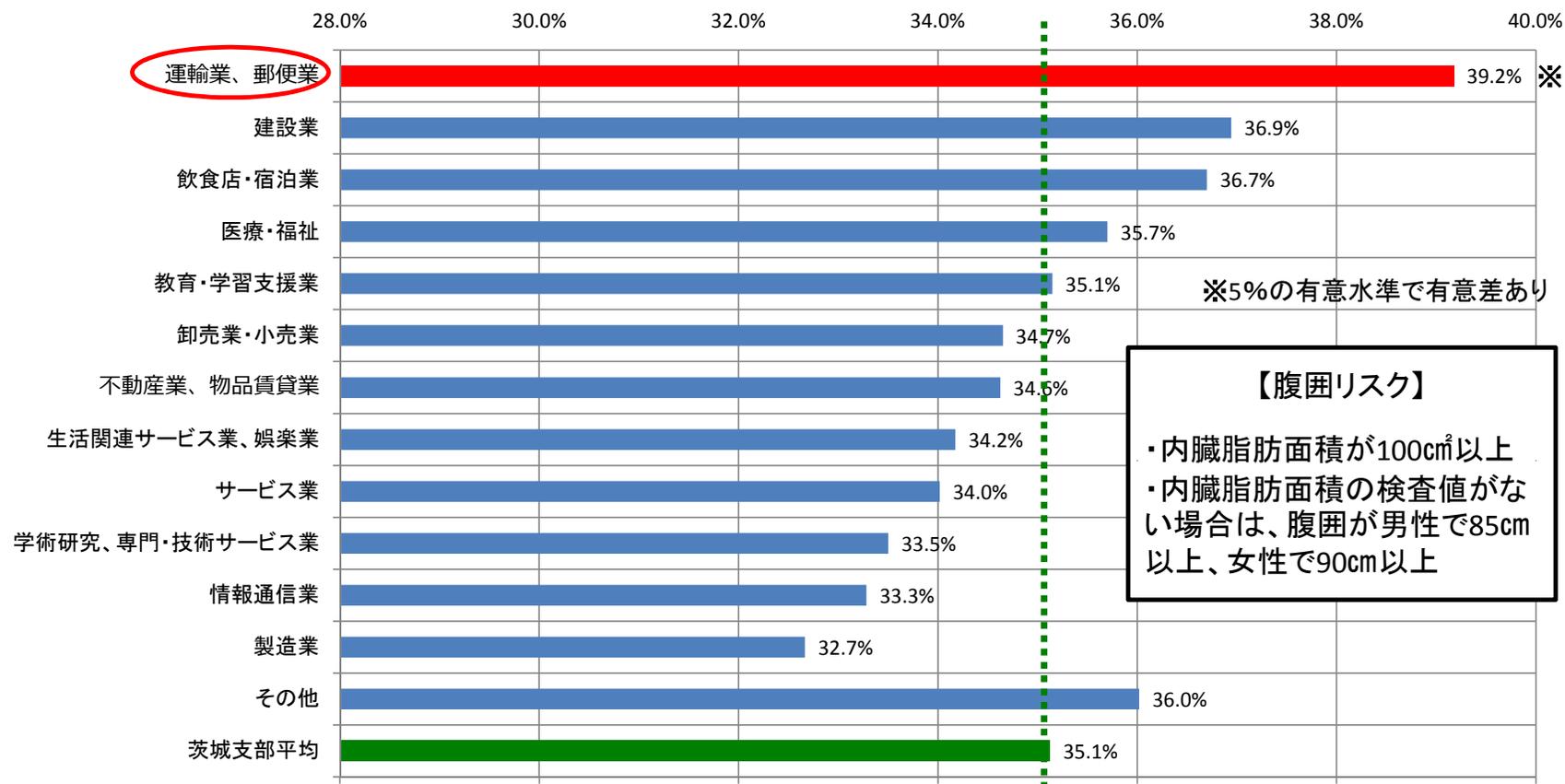
業態別・年齢別の構成割合



全体的に30代～40代の占める割合は5割程度だが、情報通信業では7割以上と高い。

①業態別の腹囲リスク保有割合

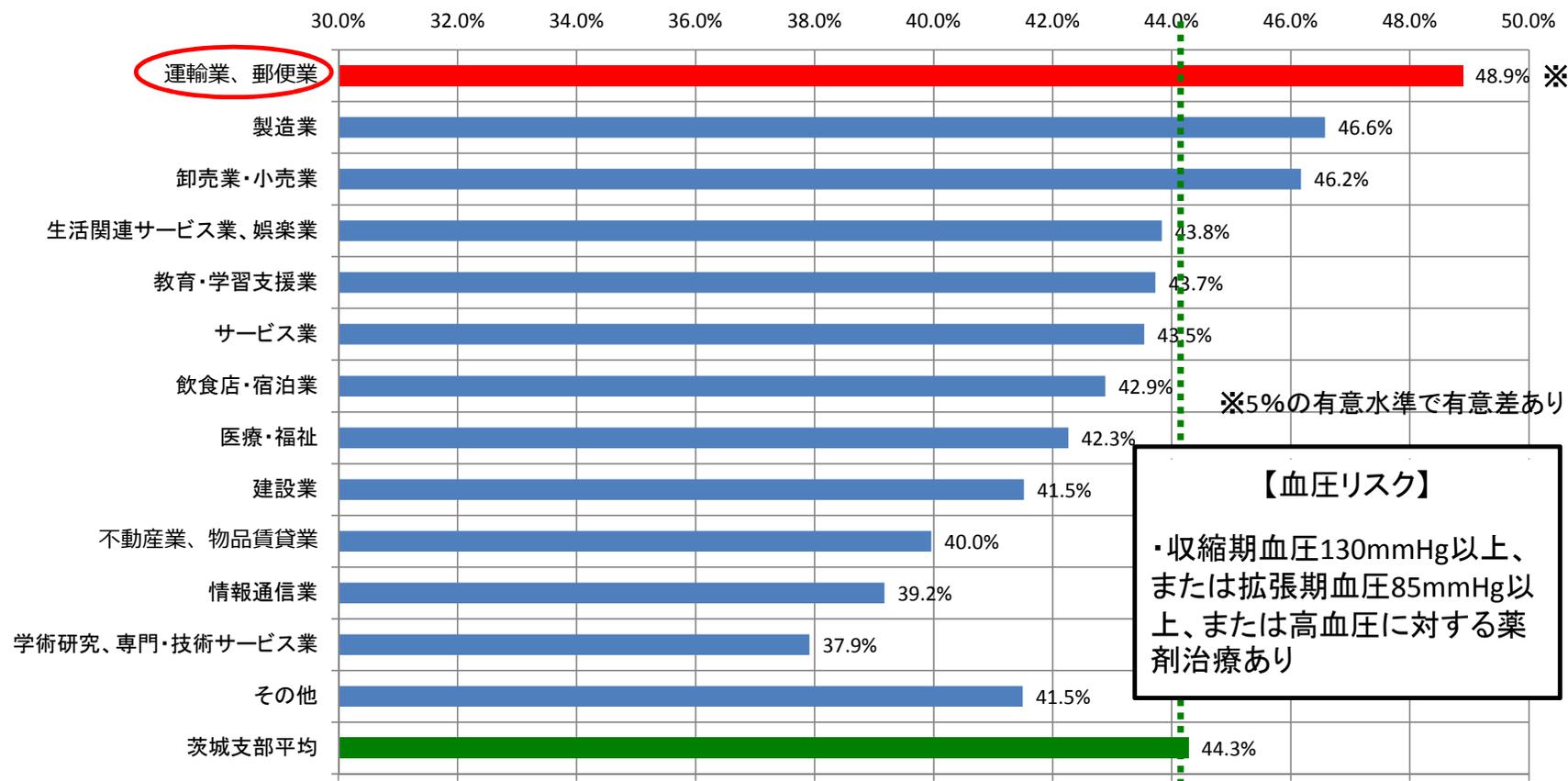
性別・年齢構成比を調整後



運輸業・郵便業が39.2%と最も高く、次いで建設業(36.9%)、飲食店・宿泊業(36.7%)の順になっている。最も低い業態は製造業で32.7%であった。

②業態別の血圧リスク保有割合

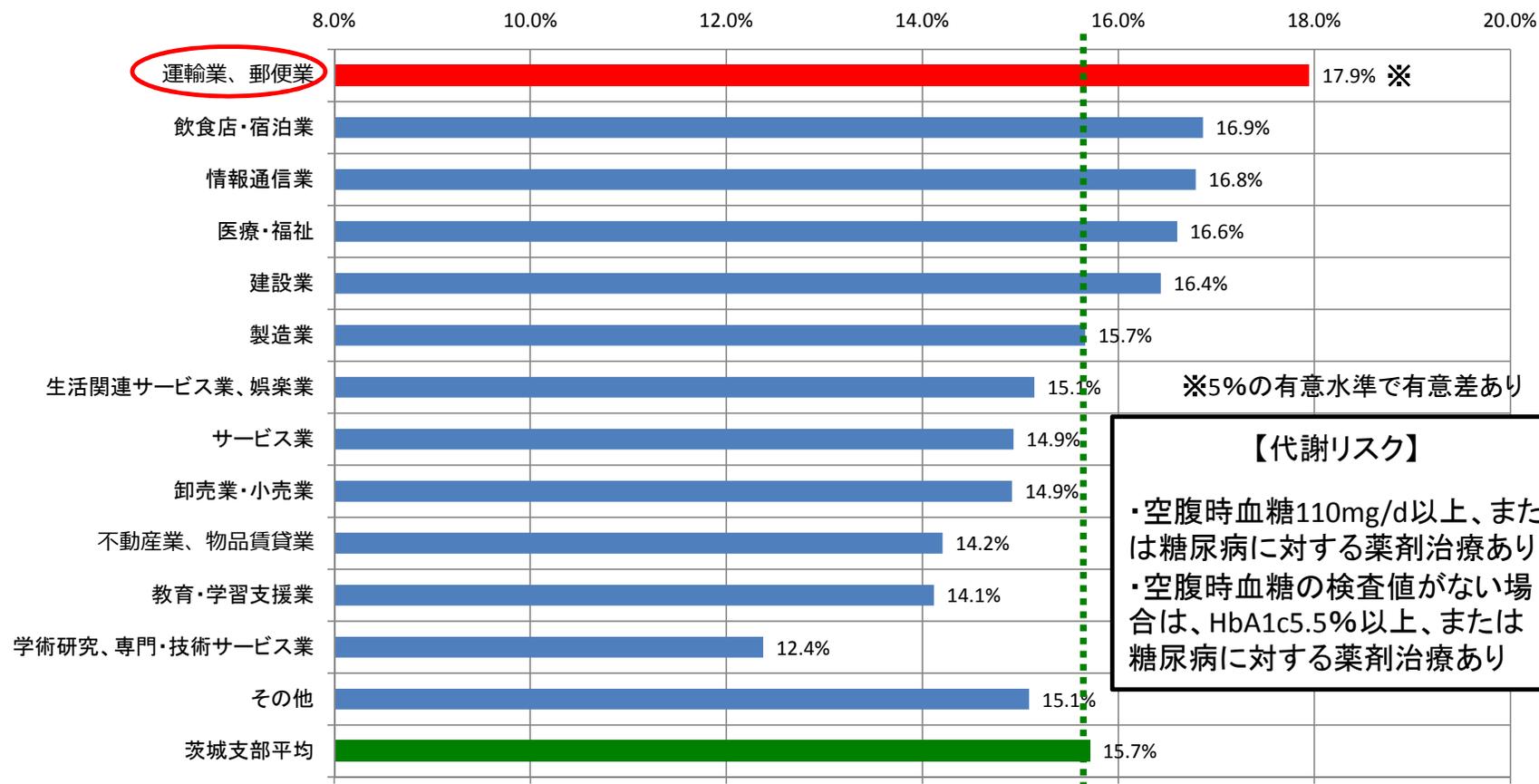
性別・年齢構成比を調整後



運輸業・郵便業が48.9%と最も高く、次いで製造業(46.6%)、卸売業・小売業(46.2%)の順になっている。最も低い業態は学術研究・専門技術サービス業で37.9%であった。

③業態別の代謝リスク保有割合

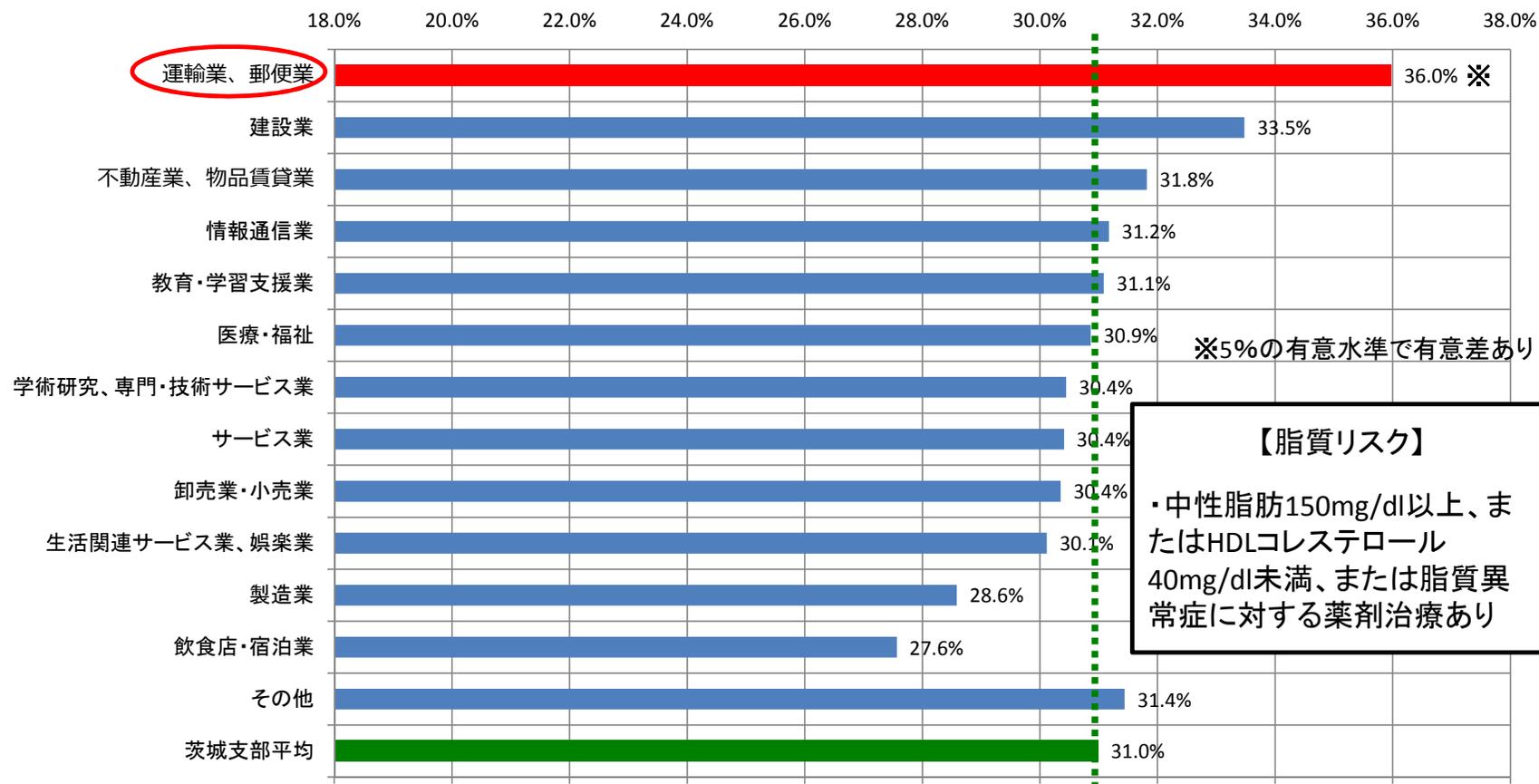
性別・年齢構成比を調整後



運輸業・郵便業が17.9%と最も高く、次いで飲食店・宿泊業(16.9%)、情報通信業(16.8%)の順になっている。最も低い業態は学術研究・専門技術サービス業で12.4%であった。

④業態別の脂質リスク保有割合

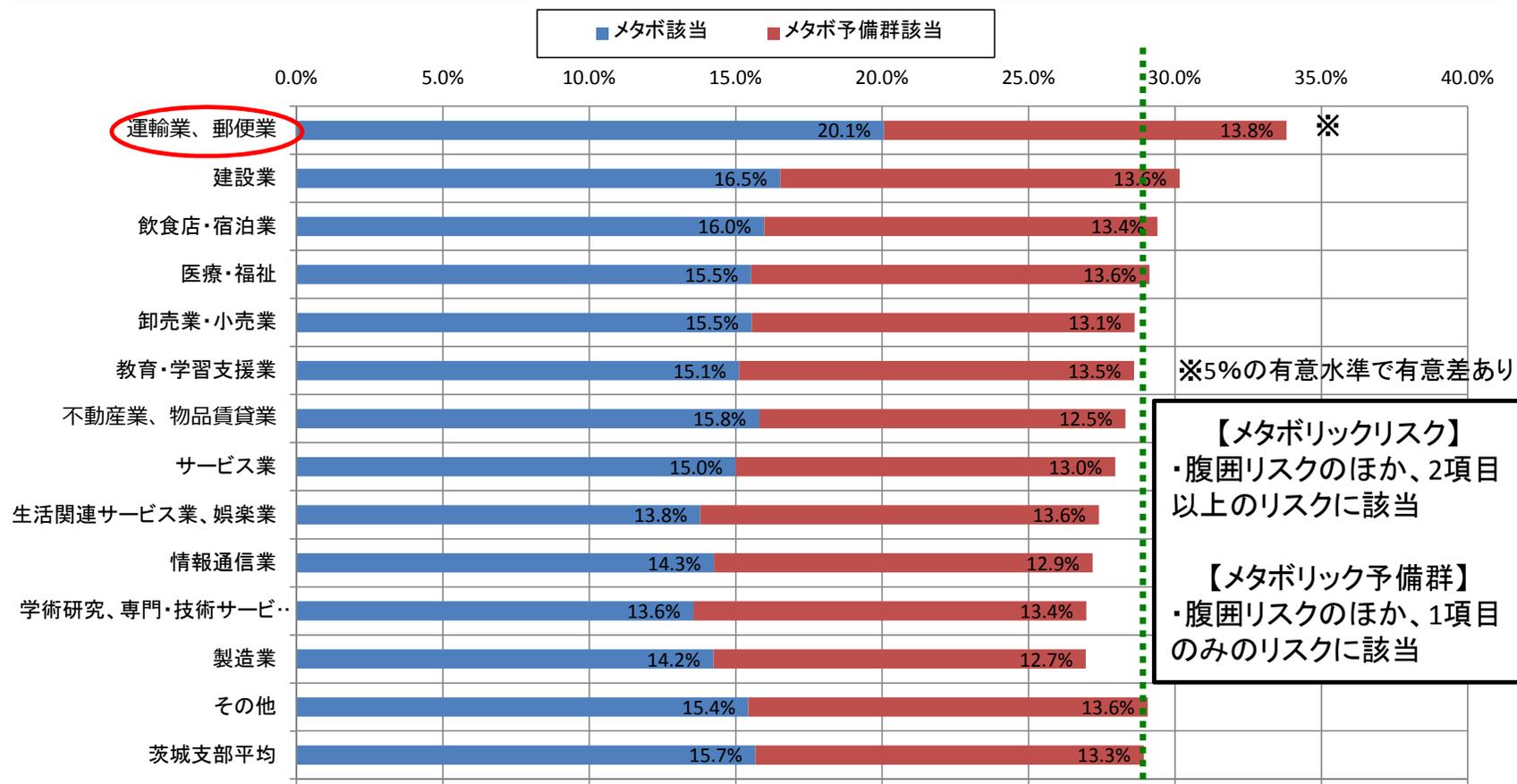
性別・年齢構成比を調整後



運輸業・郵便業が36.0%と最も高く、次いで建設業(33.5%)、不動産業、物品賃貸業(31.8%)の順になっている。最も低い業態は飲食店・宿泊業で27.6%であった。

業態別のメタボ該当者割合

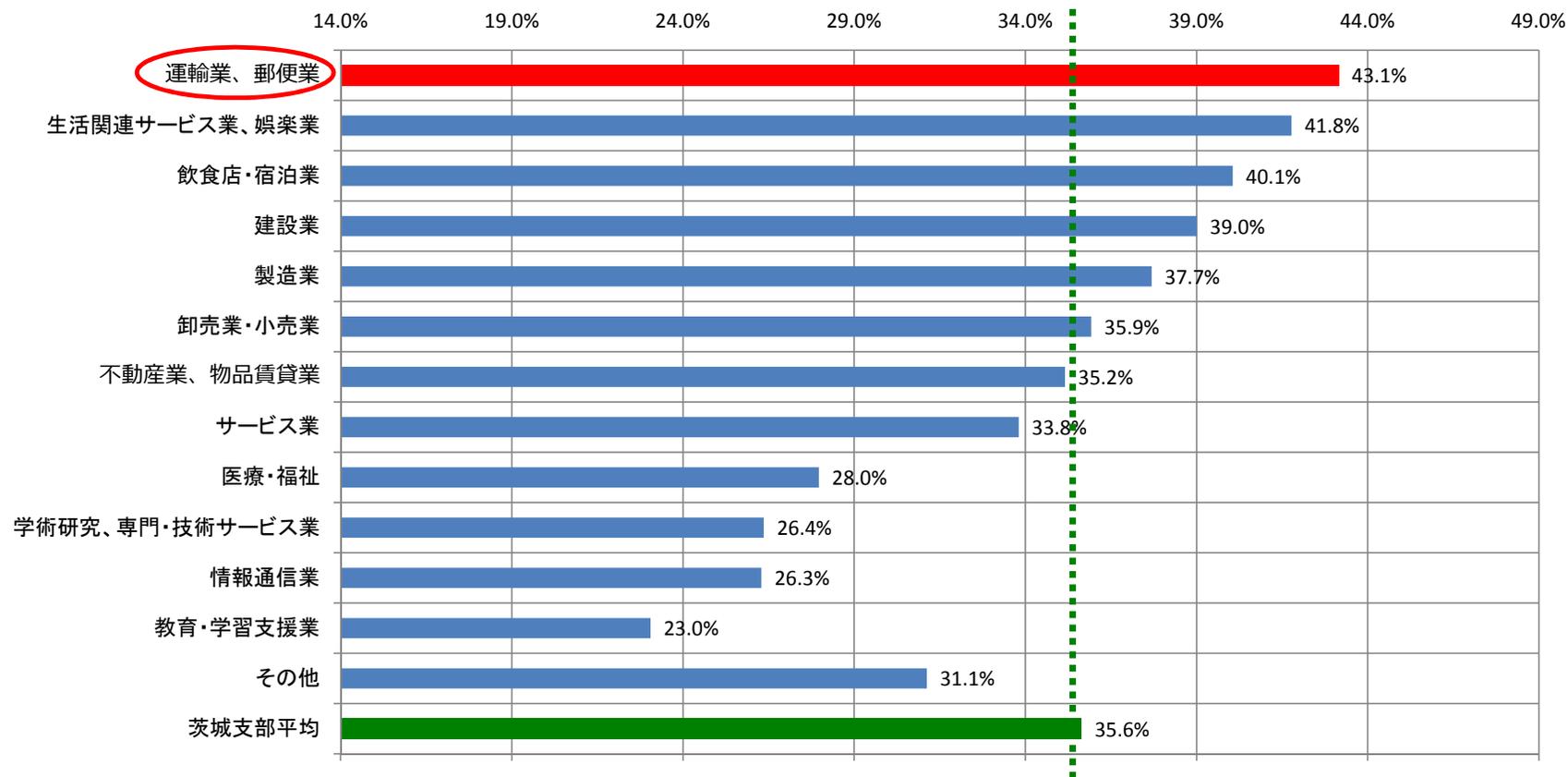
性別・年齢構成比を調整後



メタボ、予備群を合わせると、運輸業・郵便業が33.9%と最も高く、次いで建設業(30.2%)、飲食店・宿泊業(29.4%)の順になっている。最も低い業態は製造業と学術研究、専門・技術サービス業で27.0%であった。

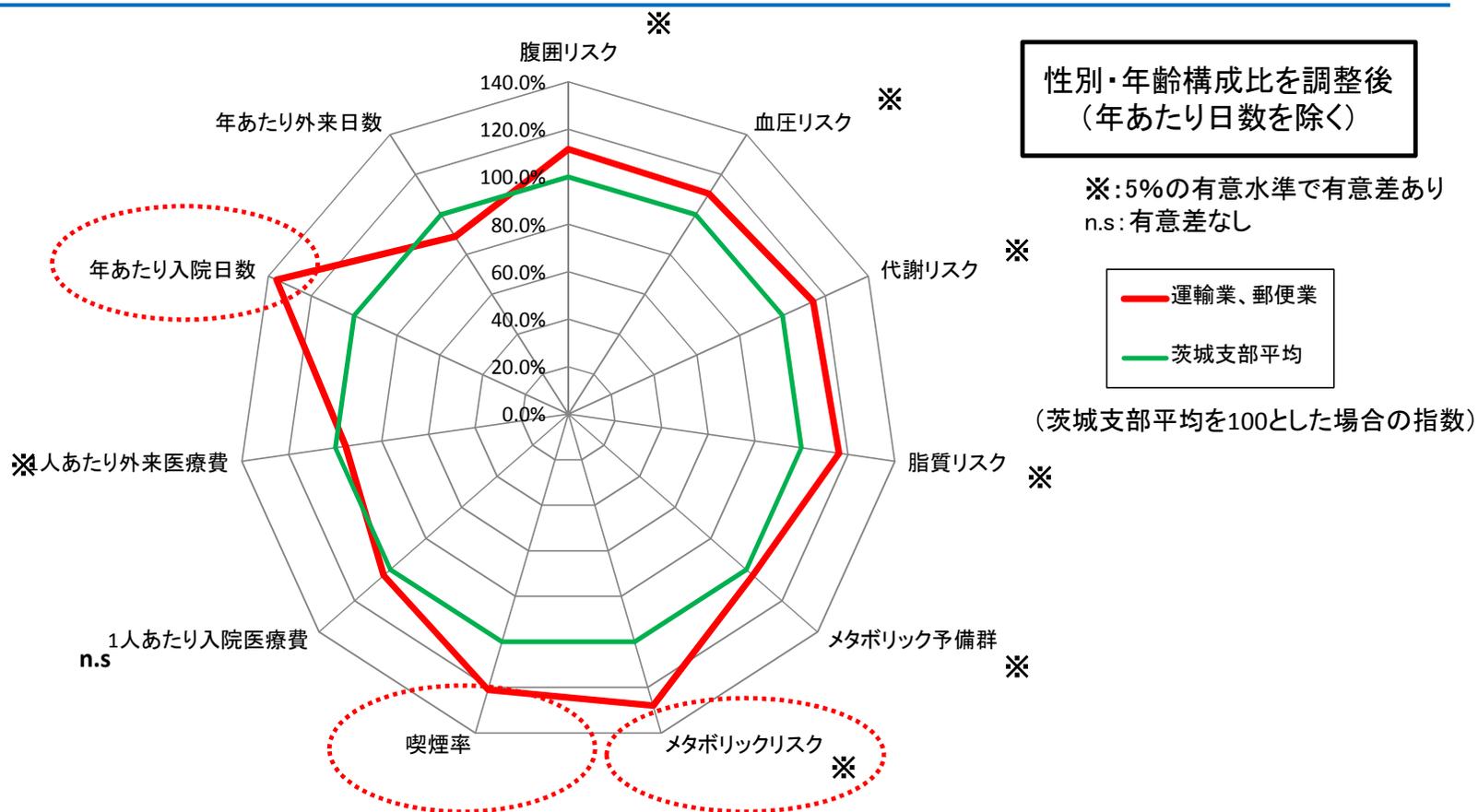
業態別の喫煙者割合

性別・年齢構成比を調整後



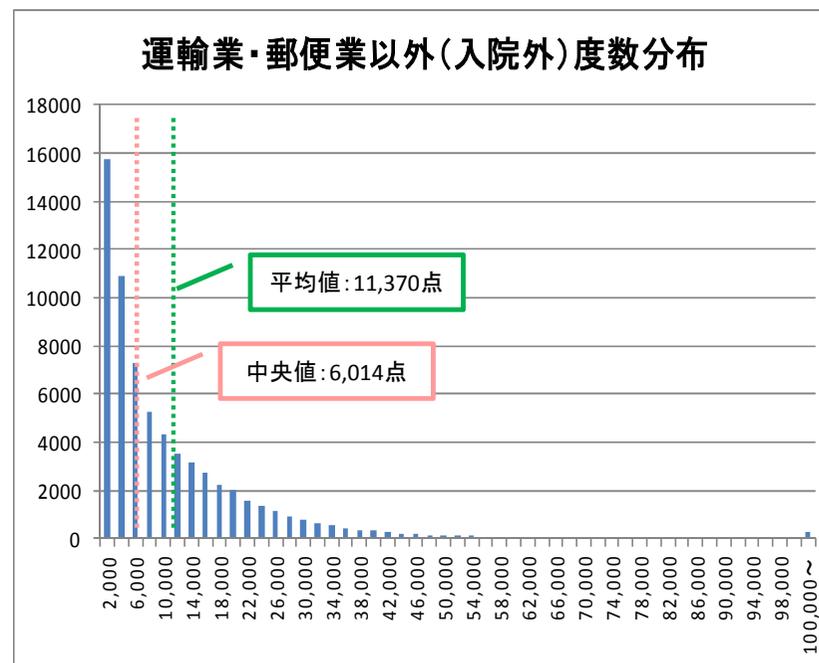
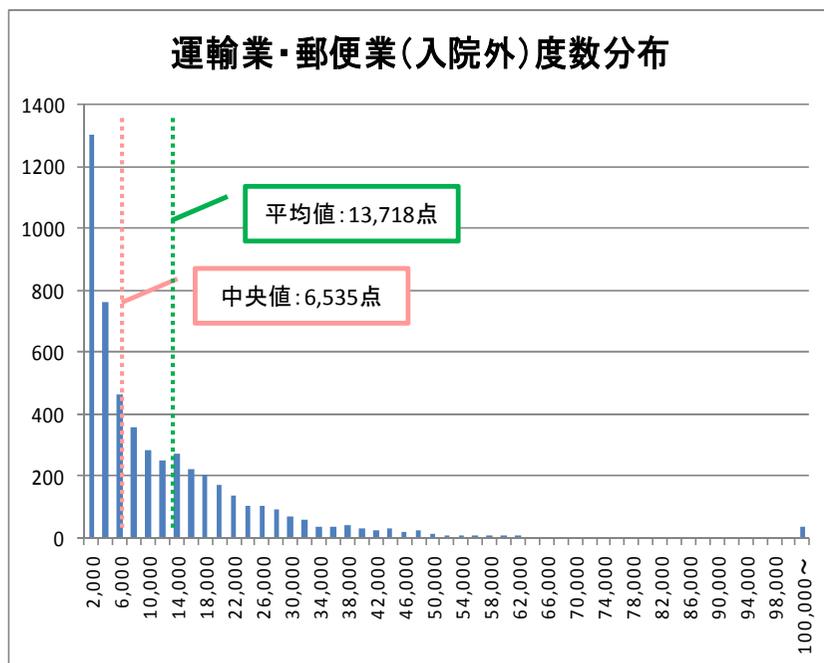
運輸業・郵便業が43.1%と最も高く、次いで生活関連サービス業、娯楽業(41.8%)、飲食店・宿泊業(40.1%)の順になっている。最も低い業態は教育・学習支援業で23.0%であった。

上位6業種別レーダーチャート: 運輸業・郵便業



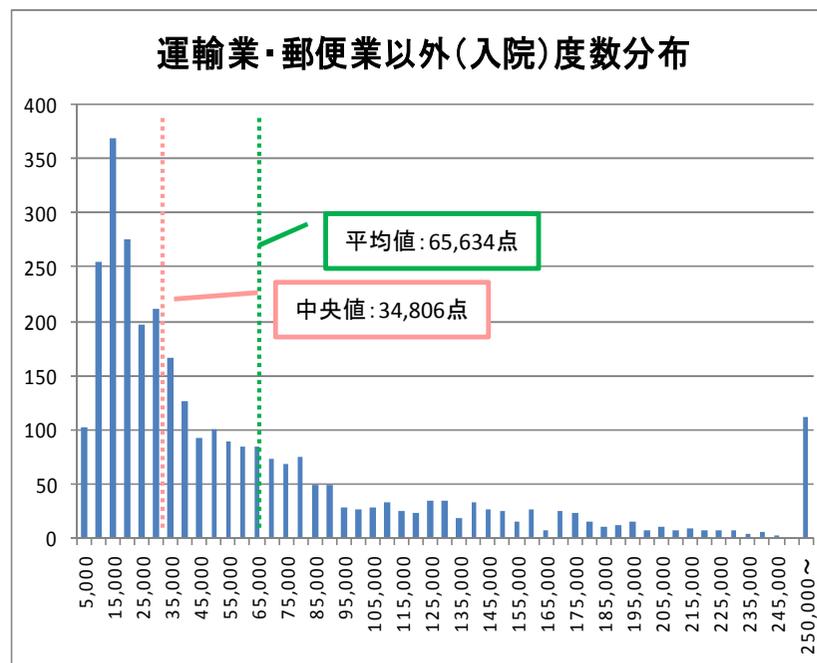
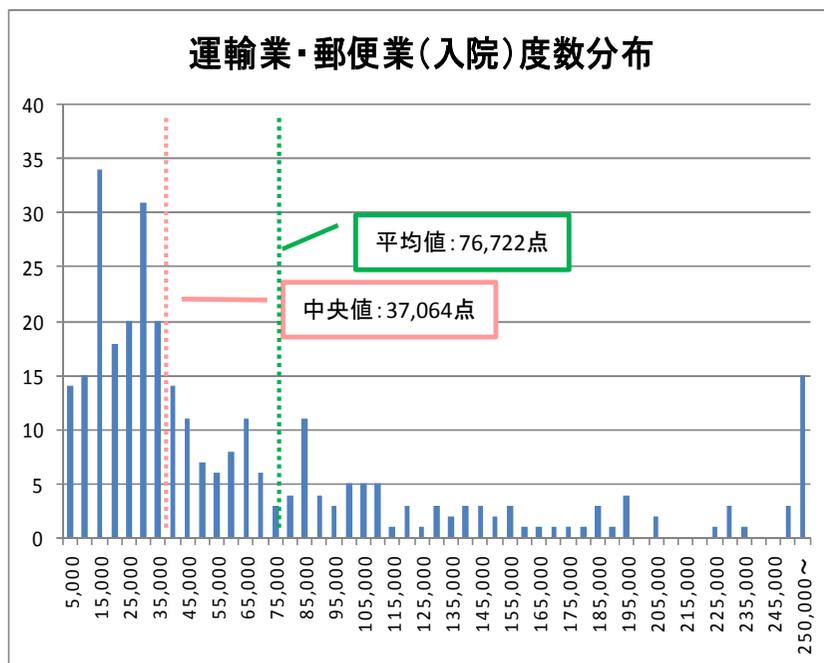
- ・全てのリスクにおいて平均を大きく上回り、特にメタボ、喫煙率の高さが目立つ。
- ・特に年あたり入院日数の高さが目立つ。

入院外医療費の分布状況



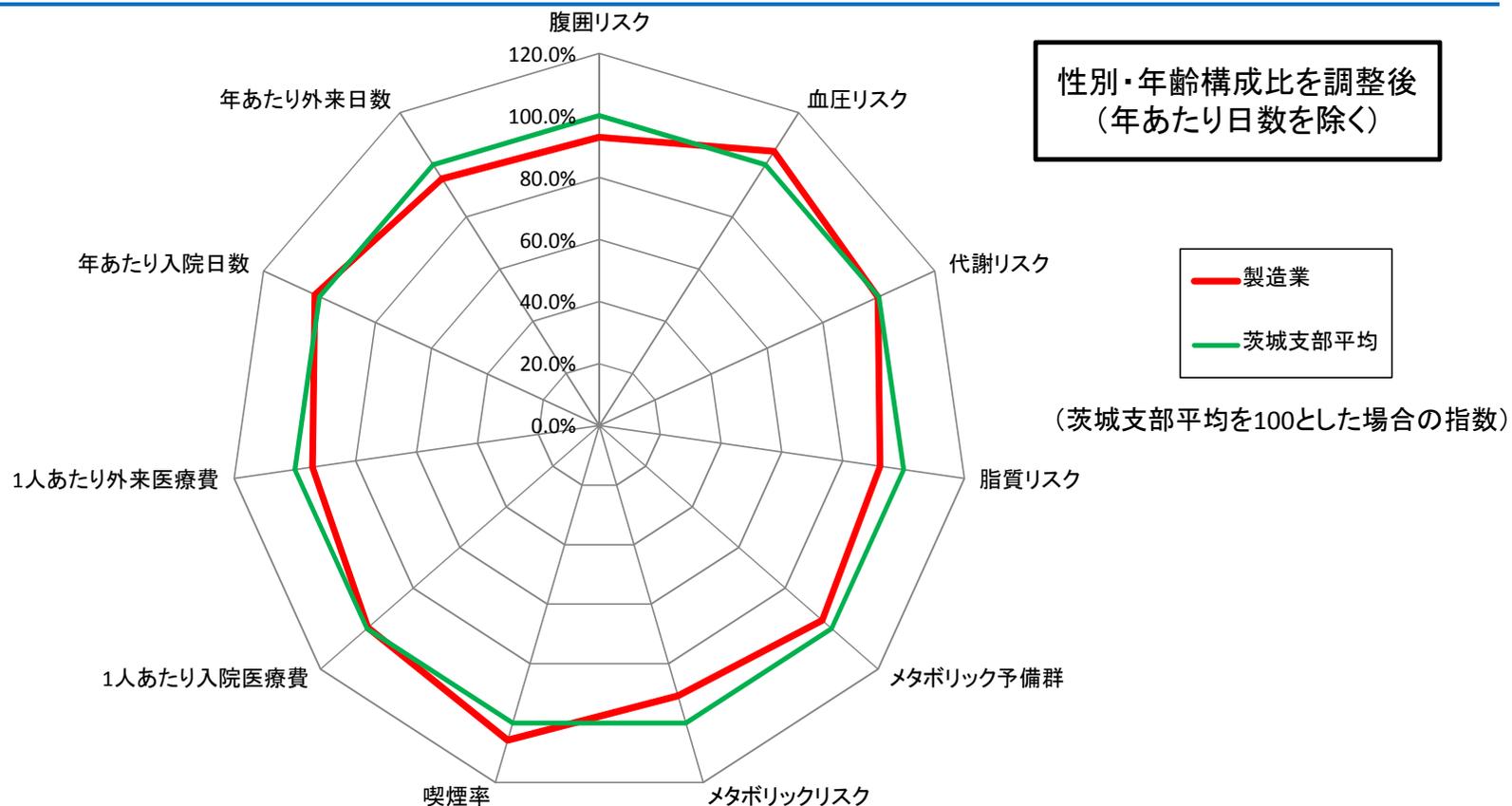
- ・正規分布していないため、Mann-Whitney(マン・ホイットニー)検定を実施
- ・有意水準は5%とし、有意差は確認できた。

入院医療費の分布状況



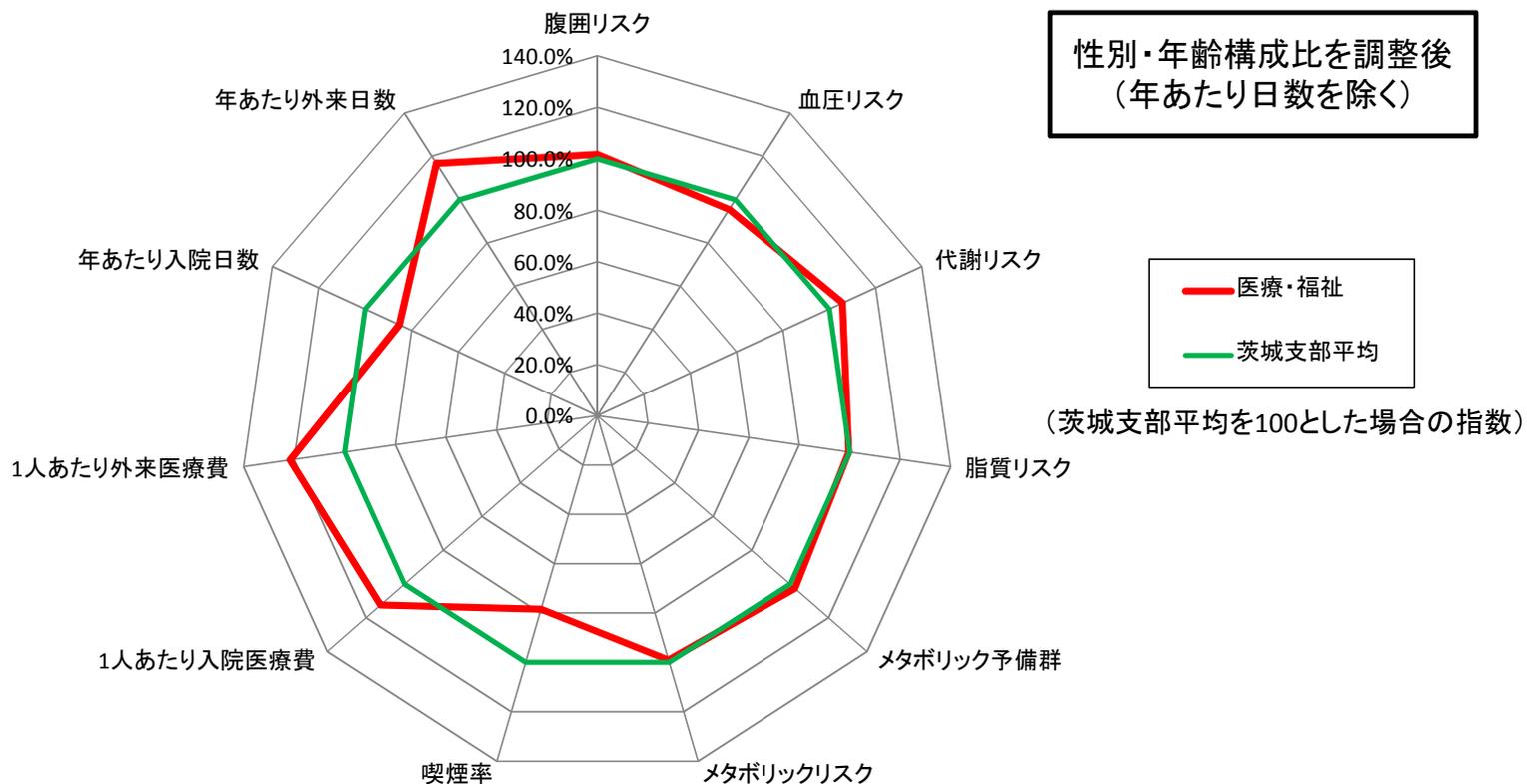
- ・正規分布していないため、Mann-Whitney(マン・ホイットニー)検定を実施
- ・有意水準は5%とし、有意差は確認できなかった。

上位6業種別レーダーチャート: 製造業



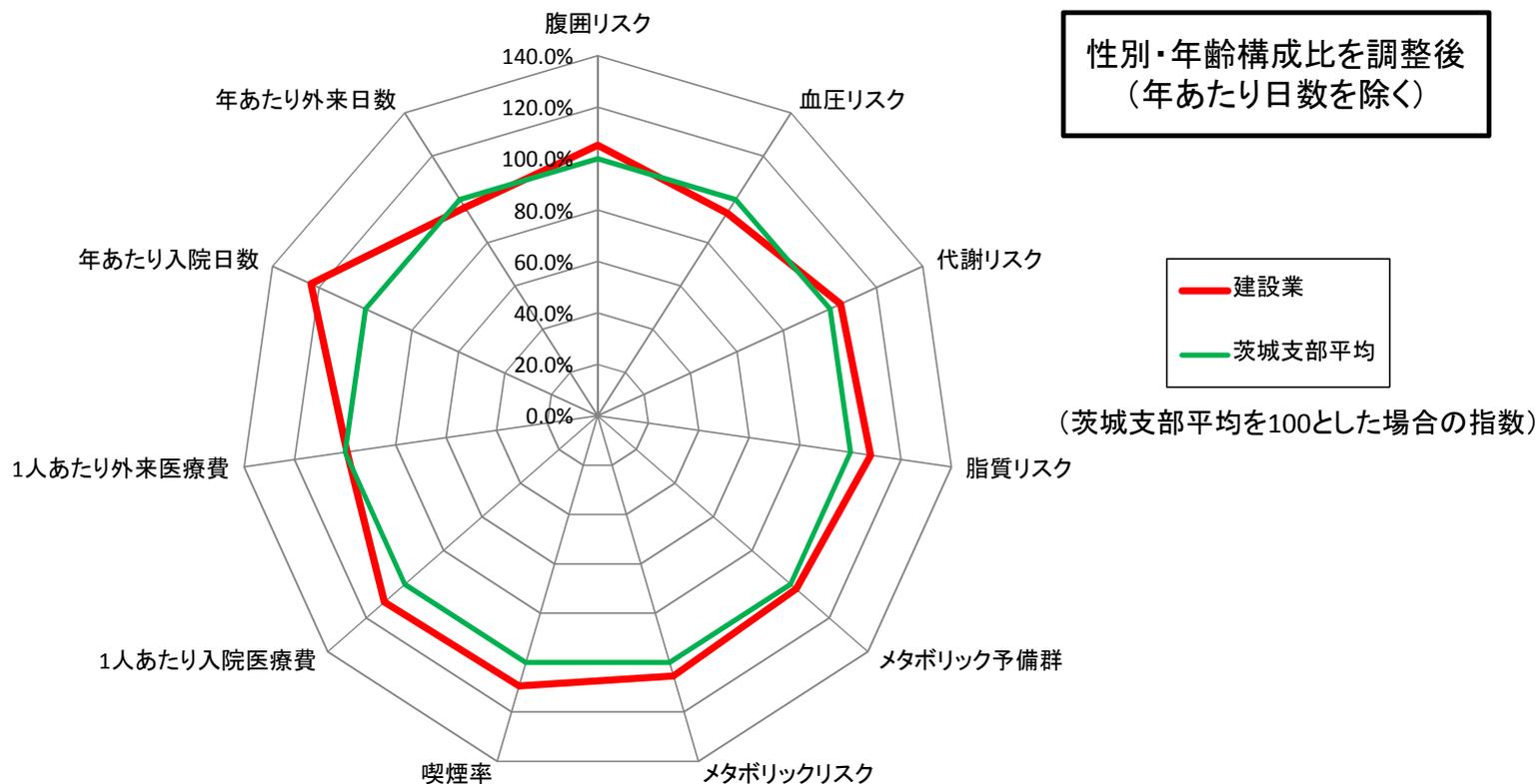
・全体的にリスク割合は茨城支部平均より低めだが、喫煙率と血圧リスクはやや高い。

上位6業種別レーダーチャート:医療・福祉



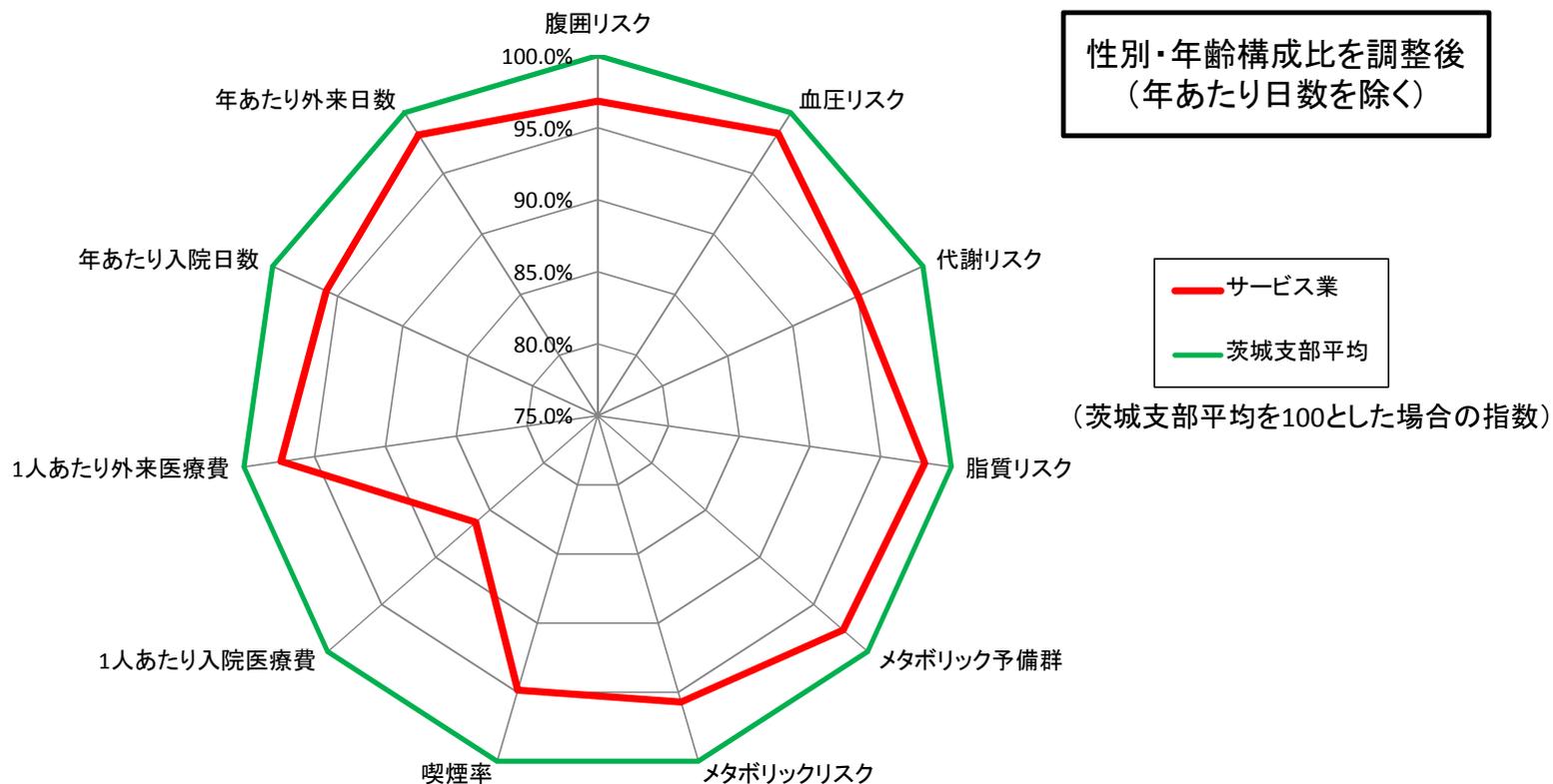
・リスク保有割合は、ほぼ平均並みだが、1人あたり医療費が入院外来ともに高い。
また、年あたり外来日数も多い。

上位6業種別レーダーチャート: 建設業



・血圧以外の各リスクにおいて平均を上回り、入院医療費、年あたり入院日数とも高い傾向にある。

上位6業種別レーダーチャート: サービス業



・1人あたり医療費や年あたり診療日数を含め、全てのリスクにおいて平均を下回っている。

全国の運輸業と茨城支部の運輸業とのリスク保有割合の比較(参考)

【平成24年度 道路貨物運送業】

(男性)

	腹囲	血糖>=126	HbA1c>=5.2	中性脂肪>=150	HDL<40	LDL>=140	血圧>=130	血圧>=85	メタボ	喫煙
全国	48.0%	9.4%	47.0%	29.8%	8.4%	31.9%	44.6%	33.5%	23.4%	55.2%
茨城支部	54.9%	10.2%	50.3%	36.4%	11.5%	31.7%	50.7%	37.2%	27.7%	56.9%

(女性)

	腹囲	血糖>=126	HbA1c>=5.2	中性脂肪>=150	HDL<40	LDL>=140	血圧>=130	血圧>=85	メタボ	喫煙
全国	12.9%	2.8%	39.4%	10.1%	1.6%	29.2%	26.9%	16.3%	4.3%	24.1%
茨城支部	10.6%	3.0%	42.3%	11.4%	2.2%	27.9%	31.5%	20.8%	5.5%	22.0%

【平成24年度 その他の運輸業】

(男性)

同じ運輸業間でも、茨城支部は全国平均よりリスク保有割合が高い

	腹囲	血糖>=126	HbA1c>=5.2	中性脂肪>=150	HDL<40	LDL>=140	血圧>=130	血圧>=85	メタボ	喫煙
全国	53.8%	11.1%	46.6%	36.0%	11.2%	33.7%	44.5%	34.1%	24.9%	52.1%
茨城支部	57.9%	11.3%	51.7%	42.8%	16.5%	29.6%	49.8%	37.1%	28.3%	47.3%

(女性)

	腹囲	血糖>=126	HbA1c>=5.2	中性脂肪>=150	HDL<40	LDL>=140	血圧>=130	血圧>=85	メタボ	喫煙
全国	14.7%	3.4%	36.5%	11.5%	1.6%	29.5%	26.9%	16.0%	4.6%	22.6%
茨城支部	15.3%	2.1%	46.6%	14.2%	2.6%	26.4%	29.6%	19.3%	7.2%	25.3%

(出典) 全国健康保険協会本部・国立保健医療科学院の共同分析結果より

茨城県トラック協会との連携(団体広報誌に記事掲載)

協会けんぽ茨城支部からのお知らせ(茨城県トラック協会会報『茨城トラック情報』10月号の掲載)

従業員の健康管理していますか?

～交通事故防止、労災防止、経営安定のために～

協会けんぽ茨城支部では、加入者の皆さまの健康づくりのため、健診結果を分析しています。このたび、協会けんぽ茨城支部にご加入されている、運輸業・郵便業の皆さまの平成25年度の生活習慣病予防健診結果についてまとめましたのでお知らせいたします。

運輸業・郵便業におけるリスク保有割合

— 運輸業・郵便業
— 茨城支部平均

腹囲リスク 150%
喫煙率 100%
血圧リスク 50%
代謝リスク 0%
脂質リスク 0%
メタボリックリスク 0%

(茨城支部平均を100として比較)

一人あたり年間医療費

入院医療費

業種	医療費(円)
運輸業・郵便業	32,007
茨城支部平均	26,324

外来医療費

業種	医療費(円)
運輸業・郵便業	96,548
茨城支部平均	93,200

茨城支部加入の運輸業・郵便業は全てのリスクで茨城支部平均を大きく上回り、特にメタボ、喫煙率の高さが目立ちます。

入院医療費、外来医療費ともに茨城支部平均よりも高額であることから、運輸業・郵便業の方の健康度が心配されます。

POINT! 健診結果は必ずチェックし、「要治療」と判断された場合には、かかりつけ医の受診をお勧めします!

お問い合わせ先

全国健康保険協会 茨城支部
協会けんぽ
〒310-8502 水戸市南町3-4-57 水戸セントラルビル

協会けんぽ 茨城 検索
http://www.kyokaikenpo.or.jp/shibu/ibaraki
☎029-303-1584(保健グループ)

業種別 メタボリックリスク保有割合

メタボリックリスク保有割合

業種	保有割合
運輸業・郵便業	20.1%
建設業	16.5%
飲食店・宿泊業	16.0%
不動産業、物品賃貸業	15.8%
卸売業・小売業	15.5%
医療・福祉	15.5%
教育・学習支援業	15.1%
サービス業	15.0%
情報通信業	14.3%
製造業	14.2%
生活関連サービス業、娯楽業	13.8%
学術研究、専門・技術サービス業	13.6%
茨城支部平均	15.7%

茨城支部加入の運輸業・郵便業の方のメタボリックリスク保有割合は、他の業種と比較してもっとも高く、20%を超えています。メタボリックリスクは、腹囲リスクに該当の他に、血圧・脂質・代謝から2つ以上のリスクがある場合に該当します。複合的なリスクを持つため、早期改善が必要です。

最も喫煙率の高い業種、低い業種は?

業種	喫煙率
運輸業・郵便業	43.1%
教育・学習支援業	23.0%
茨城支部平均	35.6%

業種別に見た場合、運輸業・郵便業の方の喫煙率は最も高く、最も低い教育・学習支援業と比較すると約20%も高い喫煙率となっております。

喫煙は末梢神経の収縮や血圧上昇を引き起こし、狭心症や心筋梗塞、脳卒中などの生命に係る病気になるリスクが著しく高まります。

協会けんぽの健診、保健指導をぜひご利用ください!

協会けんぽでは、35歳～74歳の従業員さま向けの生活習慣病予防健診を実施しております。年に一度は健診を受診して、自分の身体の健康状態をチェックしましょう!

また、協会けんぽの保健師等によるメタボリックシンドロームに着目した特定保健指導(無料)を実施しています。

ぜひ健康管理・生活習慣の見直しにご活用ください!

考察

茨城支部には様々な業種の事業所があるなか、特に運輸・郵便業のリスク保有割合が高く、1人あたり医療費の中央値についても運輸業・郵便業以外と比較して入院外では高い。年あたり入院日数も多い。また、他の分析結果によると、同じ運輸業で比較しても茨城支部の運輸業は全国平均より健康リスクが高い結果も出ている。

これらの結果を踏まえ、平成26年9月に運輸業界の団体である茨城県トラック協会を訪問し、業態別のリスク保有割合をまとめた資料を提示のうえ連携した取り組みについて協力を求めたところ、同協会が会員事業所に対して毎月発行している『茨城トラック情報』10月号に運輸業界の健康実態に関する記事を無料で掲載していただいた。

現時点では、業界団体広報誌への記事掲載といった連携にとどまっているが、今後はこの結果を資料として運輸業の抱える健康問題を共有し、健康づくりプログラムの提案など、データヘルス計画の一環として事業所と一体となって解決すべく連携を深めていきたい。

元データ(参考)

(性別・年齢構成比を調整後)

業態	腹囲リスク	血圧リスク	代謝リスク	脂質リスク	メタボリック 予備群	メタボリック リスク	喫煙率
製造業	32.7%	46.6%	15.7%	28.6%	12.7%	14.2%	37.7%
医療・福祉	35.7%	42.3%	16.6%	30.9%	13.6%	15.5%	28.0%
卸売業・小売業	34.7%	46.2%	14.9%	30.4%	13.1%	15.5%	35.9%
建設業	36.9%	41.5%	16.4%	33.5%	13.6%	16.5%	39.0%
サービス業	34.0%	43.5%	14.9%	30.4%	13.0%	15.0%	33.8%
運輸業、郵便業	39.2%	48.9%	17.9%	36.0%	13.8%	20.1%	43.1%
学術研究、専門・技術サービス業	33.5%	37.9%	12.4%	30.4%	13.4%	13.6%	26.4%
生活関連サービス業、娯楽業	34.2%	43.8%	15.1%	30.1%	13.6%	13.8%	41.8%
不動産業、物品賃貸業	34.6%	40.0%	14.2%	31.8%	12.5%	15.8%	35.2%
情報通信業	33.3%	39.2%	16.8%	31.2%	12.9%	14.3%	26.3%
飲食店・宿泊業	36.7%	42.9%	16.9%	27.6%	13.4%	16.0%	40.1%
教育・学習支援業	35.1%	43.7%	14.1%	31.1%	13.5%	15.1%	23.0%
その他	36.0%	41.5%	15.1%	31.4%	13.6%	15.4%	31.1%
茨城支部平均	35.1%	44.3%	15.7%	31.0%	13.3%	15.7%	35.6%

元データ(参考)

(医療費については性別・年齢構成比を調整後)

業態	健診受診者 1人あたり入院医療 費	健診受診者 1人あたり外来医療費	健診受診者 年あたり入院日数/千人	健診受診者 年あたり外来日数/千人
製造業	25,822 円	89,864 円	1.22 日	19.24 日
医療・福祉	29,178 円	115,945 円	1.03 日	23.74 日
卸売業・小売業	26,189 円	93,934 円	1.11 日	19.12 日
建設業	28,692 円	94,628 円	1.49 日	19.58 日
サービス業	22,382 円	92,824 円	1.15 日	19.97 日
運輸業、郵便業	26,913 円	91,004 円	1.64 日	18.09 日
学術研究、専門・技術サービス業	18,027 円	89,244 円	0.78 日	19.01 日
生活関連サービス業、娯楽業	20,390 円	88,325 円	0.86 日	20.51 日
不動産業、物品賃貸業	23,667 円	91,502 円	1.02 日	19.99 日
情報通信業	20,123 円	93,812 円	0.77 日	15.77 日
飲食店・宿泊業	31,899 円	82,959 円	1.86 日	17.88 日
教育・学習支援業	30,806 円	103,765 円	1.30 日	21.21 日
その他	23,480 円	94,803 円	1.05 日	22.31 日
茨城支部平均	25,935 円	95,327 円	1.20 日	20.34 日